

種名と配列に関わる解説等（汎甲殻類（昆虫類を除く））

○目録の解説

本目録は、節足動物門のうち、鰓脚・貝形虫・イクチオストラカ・六齡ノープリウス・軟甲の5綱（いわゆる「甲殻類」であるが、この名称に相当する群は側系統群である可能性が高いため、ここでは使用しない）を対象とし、科以上の上位分類群を独立した見出し行として記入した。また、それら上位分類群すべてに対し、学名とその命名者・年を記入した。

学名や分類体系はインターネット上のデータベースである WoRMS Editorial Board (2019) に概ね準拠した。Class Hexanauplia Oakley, Wolfe, Lindgren & Zaharof, 2013 はこれまで和名が存在しなかったため、今回「六齡ノープリウス綱」と新称した。

岡山県野生生物目録 2009 での上記5綱の種数合計は122であった。本目録の種数合計は286（鰓脚綱3・貝形虫綱2・イクチオストラカ綱1・六齡ノープリウス綱14・軟甲綱266）となり、ほぼ倍増したが、これは協力員の増加と精査によるもので、県下の自然環境の変化によるものではない。また、今後県下での調査が進むにつれ、更なる種数の増加がある可能性が高いと考えられる。

上記5綱の目録作成は検討会委員の坂本明弘・中田和義・福田 宏および協力員の多留聖典（東邦大学東京湾生態系研究センター）・和田太一（NPO 法人南港ウェットランドグループ）・渡部哲也（西宮市貝類館）が担当し、本解説は渡部哲也・福田 宏が作成した。目録作成にあたっては以下の協力員各位の協力を得た（五十音順）： 浅田 要（岐阜大学応用生物科学部），小川 洋（海の生き物を守る会），木村昭一（三重大学大学院生物資源学研究所），佐藤大義（琉球大学理学部海洋自然科学科），締次美穂（南紀生物同好会），末永崇之（元・東北大学大学院生命科学研究科），中島広喜（横須賀市自然・人文博物館）。

○主な参考文献

- Doi, W., Watanabe, S. and Carlton, J. T., 2010. Alien Marine Crustaceans of Japan: A Preliminary Assessment. In Galil B., Clark P. and Carlton J. (eds), *In the Wrong Place — Alien Marine Crustaceans: Distribution, Biology and Impacts. Invading Nature - Springer Series in Invasion Ecology*, 6. Springer, Dordrecht.
- 江田伸司・坂本明弘, 1988. 久須美鼻（岡山県倉敷市）の海岸動物. 倉敷市立自然史博物館研究報告, (3): 41–47.
- 福田 宏, 2010. カニ類・カニヤドリムシ類. In 岡山県野生動植物調査検討会（編）, *岡山県版レッドデータブック 2009 動物編*, 252–253, 268–277, 399–404. 岡山県生活環境部自然環境課, 岡山.
- 廣田厚子, 2015. 春の観察会 河口干潟に生息する甲殻類・貝類等干潟生物の観察. *倉敷の自然*, (99): 12–13.
- 伊藤 靖, 2014. 人工魚礁における有用魚介類の増殖と増殖機能に関する研究. 北海道大学大学院 水産科学院 海洋生物資源科学専攻 博士論文.
- 片山勝介, 1982. ヨコエビ類による養殖ノリの食害について. *昭和56年度岡山県水産試験場事業報告書*, (1981): 139–141.
- 桂又三郎, 1933. *岡山縣動植物方言圖譜 卷之五 甲殻類之部*. 中国民俗学会, 岡山.
- 森 千恵・江木寿男, 2011. 日本の重要湿地 500 永江川河口湿地のベントスと魚類. *倉敷市立自然史博物館研究報告*, (26): 1–6.

- Morino, H., 2014. A new land-hopper genus, *Mizuhorchestia*, from Japan (Crustacea, Amphipoda, Talitridae). *Bulletin of the National Museum of Nature and Science*, A, **40**: 117–127.
- Nagata, K., 1965. Studies on marine gammaridean Amphipoda of the Seto Inland Sea. I. *Publications of the Seto Marine Biological Laboratory*, **13**: 131–170.
- Nagata, K., 1965. Studies on marine gammaridean Amphipoda of the Seto Inland Sea. III. *Publications of the Seto Marine Biological Laboratory*, **13**: 291–326.
- 日本ベントス学会 (編), 2012. 干潟の絶滅危惧動物図鑑 海岸ベントスのレッドデータブック. 東海大学出版会, 秦野.
- 岡山大学理学部附属牛窓臨海実験所, 刊行年不詳. 無脊椎動物実習手引 第3版. 岡山大学理学部附属牛窓臨海実験所, 牛窓.
- 岡山大学理学部附属玉野臨海実験所, 1978. 備讃瀬戸海域の生物相と主要実験動物の研究. In 国立大学臨海臨湖実験所長会議 (編), 臨海・臨湖実験所周辺の生物相および主要実験生物に関する研究 (昭和 50–52 年度文部省科学研究費補助金総合研究 A 研究成果報告), 158–170. 国立大学臨海臨湖実験所長会議, 福岡.
- 寺嶋 朴・松村眞作, 1983. 児島湾における干潟の底生動物. 昭和 57 年度岡山県水産試験場事業報告書 (受託関係), (1982): 104–119.
- WoRMS Editorial Board, 2019. *World Register of Marine Species*. <http://www.marinespecies.org> (2019 年 2 月 13 日閲覧)